

グループホーム むつみ

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	12	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	1.利用者1人1人の尊厳を尊重し、その思いを大切にします。2.利用者のその有する能力に応じた生活環境作りを目指します。3.利用者とスタッフは、共に生活者としてのパートナーです。	1	これからも、この理念をこころがけていき、また、必要に応じて作り変えていきたい。
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	1日1回、申し送りの後に職員全員で理念を呼んでおり、常に心掛けている。また、月に1回のミーティングの時に再度確認しあっている。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	パンフレットや、新聞の配布を行っており、運営推進会議、また、近所への買物や散歩を行っている。	1	これからも、地域住民や家族との関わりを持てる機会を作っていき、理解しあえるよう取り組んでいきたい。
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	2	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	こじんまりとした、木造の平屋造りで、独特の木の温もりを感じさせるようにし、庭や玄関には花や植物などを植え、一つの民家と思えるような開放的で暖かい雰囲気を出せるようにしている。	0	
		5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	廃品回収や町内清掃、夏祭りなどに参加している。	1	もっと地域の方たちとの交流を図れるようになっていきたい。また、老人会や倶楽部などへの参加も検討していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	老人会や倶楽部への参加呼びかけや、遊びに来ていただけるように声掛けを行っている。また、散歩を行う事で、常に近隣住民とのコミュニケーションが図れるように、心掛けている。	1	老人会などへの参加の検討。また、倶楽部などの実施する場所などの提供を行う事で、地域住民との関わりを持てるようにしていきたい。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	5	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価内容を充分理解した上で、改善策などを考え話し合っている。	1	話し合っているが、改善できたり出来なかったりと、前へ進むことが出来ない事があるため、積極的に取り組んでいけるように、職員1人1人の意識作りを行っていきたい。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を行い、近隣住民や、家族からの意見などを聞いて、話し合っている。	1	運営推進会議が不定期で行っている状態で、また、参加者数が少ない為、日程の調整など工夫して、いきたい。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	声掛けを行っているが、実現はしていない。	1	定期的に、訪問し情報交換などを行っている。また、来ていただけるようにしていきたい。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	あまり、学ぶ機会がないが、施設同士の集まりなどで、情報交換などを行っている。	1	今後、講習や勉強会などに積極的に参加し、参加した職員による報告会などを行っていきたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを作成しており、虐待が起きないように徹底している。	1	定期的に勉強会などを行う事で、各自の意識確認を行い防止に努めていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	1	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	文章、口頭で説明し一旦は、サインをせずに家へ持って帰っていただき再度契約書などに目を通していただく。後、質問や疑問などを尋ね、ある場合は早急に返答している。	1	職員全員が、説明などが出来るように、情報や、知識の共有に努めていきたい。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月1回のミーティングの時や、申し送りノートに記載している。また、必要に応じて、当日のうちなどに、話し合いをもつようにして、対応している。また、運営推進委員会にて、報告などを行っている。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族の面会時や、電話連絡など行っている。また、月に1回、郵送で現状報告を行っている。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月1回のミーティングの時や、申し送りノートに記載している。また、必要に応じて、当日のうちなどに、話し合いをもつようにして、対応している。また、運営推進委員会にて、報告などを行っている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回のミーティングで話しを聞く機会の場を設けている。また、日頃からレターケースや引き出しに、意見や要望を書き入れられるようになっている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	その時の状況に応じて、対応できるように余裕を持った人員配置を行っている。また、至急の場合の時でも、対応できるような勤務作りを行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員との話し合いの場を持ち、十分に納得がいくように説明を行っており、また、精神的配慮を行う為に、必要最低限の情報や、それに対する精神的ショックなどがないようにしている。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員使用時は、積極性や協調性、向上心を持った人材をさいようしており、ひとりひとりの能力に応じた役割分担などを行い、個々の能力を最大限に発揮できるようにしている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	ミーティングなどで、その都度周知するように、取り組んでいる。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の施設内外の研修を行ってはいるが、回数が少ない。	1	施設内外の研修などを充実させていきたい。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的な訪問や、親睦会、研修会などに参加し、情報交換などを行っている。それにより、必要な情報や、有効な情報があった場合は、話し合いを儲け取り入れるかどうかなどの判断を行っている。	1	積極的に様々な勉強会などに参加していきたい。 また、勉強会の開催などの検討も行って行きたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者、職員などと、個人面談などを行い、話を聞くなどしている。また、有給を利用して、ストレスの軽減が出来るようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員の能力に応じた仕事を与える事により、責任感と達成感がもてるようにはたらきかけている。また、自己満足で終わらないように、さらに上へのステップアップを目指してもらえているようにしている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	0	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく りそ その 対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	こまめに入居者と会話をする機械を持ち、不安感や希望ごと等を聞き取れるようにしている。また、安心できるような説明や、心配りを行う。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	こまめに、連絡や面談を行う機械を持ち、不安感などを聞き入れ、軽減できるように努めている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医師、職員など、必要に応じた機関等との連絡を密に行い最善の対応方法をとるようにしている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族や本人と相談しながら、納得して頂いたうえで行うようにしている。また、場の雰囲気に馴染んでいただけるように、環境整備やアプローチを行っている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	0	
係り と 新 た な 関 係 づ く り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念でも言っているように利用者とスタッフは共に生活者としてのパートナーだという事を日頃から自分自身に言い聞かせている。また、お互いを、家族だと思い接している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族との連絡は密に行い、問題などに対して一緒になって取り組み解決していった。また、レクリエーションなどの行事ごとに参加していただき、一緒に有意義な時間を過ごしていただけるようにしている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	各家族の状況を把握し、面会の声掛けや、行事参加等の呼びかけを行っている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	定期的に連絡を取り合い、互いの近況報告や、面会などの声掛け、また、行事参加の呼びかけを行っている。また、思い出の場所など行ける範囲であれば行き思い出に浸っていただくようにしている。また、その場所に似た環境を作るなどしている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を把握し、仲の良い人同士と一緒にしていき、それをきっかけにし他入居者との関わりが持てるようにしている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	定期的な連絡を行い、互いの近況報告を行っている。また、お互いが行き来できるように呼びかけなどを行っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	3	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限り本人の望む生活スタイルを遅れるようにしている。	0	今までの生活スタイルや、本人らしい生活スタイルを送れるように、出来る限り努力して近づけていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1	一人ひとりの把握	36 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や、前の、病院や施設等に、本人の情報提供を聞き把握している。毎月、各利用者のモニタリングを行うようにし現在までの経過を把握している。	0	
			37 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	常に利用者に対して気配り心配りを行っており、申し送りノートに記入や、ミーティング等を行い各個人の現状報告を行い、確認しあっている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2	介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、スタッフまた、各関係機関などと話し合いを行い、担当者会議を行う事で、本に対しての最善な、計画作りなど行うようにしている。	0	
			39 現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人、家族、スタッフまた、各関係機関などと話し合いを行い、担当者会議を行う事で、現状の把握を行い計画の見直しを行っている。	0	
			40 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の状況を記録しており、見直しなどを定期的又、必要に応じて行っている。	1	記録の内容を濃く書くように心掛けているが、記録が浅い時があるため詳しく書くようにする。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3	多機能を活かした柔軟な支援	41 事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族との外出や外泊の要望があった際は、快く受けている。また、送迎なども行っている。また、家族からの要望に対して話し合いを行い、問題解決や、対応方法を見出している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的な避難訓練、警察への施設入居者の理解と協力などを行っている。また、定期的なボランティアによる催し物もやっている。	1	現在、民生委員の方の協力は、困難な状態の為、時間をとっていただけるようにし、また、日程調整をおこなっていきたい0
	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	各入居者の必要性に応じて、他事業者との連携を結んで、行っている。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの協働は現在あっていない。	1	包括支援センターに対して協力をお願いしている。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週に1回の往診が行われており、24時間入居者の状態変化に対する対応を迅速に行えるようにしている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症、高齢者に対するの往診経験のある医師を、ホームドクターとしている。	0	
	47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員に看護師がいるため、常に看護師、ドクターと相談しながら、健康管理に努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	スタッフ、看護師、ホームドクターと、連絡を取り合い、入居者の状態を定期的に聞いており、退院の調整や施設内での対応方法の検討などを行っている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の事を、入居契約時に書面や口頭で説明しており、また、ドクターより入居者の状態を説明してもらっており、今後の方針を話し合っている。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ドクターや看護師から、助言や指導を行ってもらっており、施設での対応の不可を考えている。また、それにより今後の対策などを考えている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	事前に書面や口頭での情報交換を行っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価3 8項目・外部評価1 1項目	4	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価3 0項目・外部評価9 項目	3	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3 項目・外部評価2 項目	0	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者に対しての接し方は、入居者を人生の先輩と敬い接している。個人情報に関しては、流出など起こらないように、十分に注意している。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人のペースにあわせ、自己主張が出来るように支援しており、時には、助言を行う事で、主張しやすいように支援している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人ひとりのペースに合わせた生活スタイルを送れるようにしつつ、必要な援助を行っている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	化粧道具などを自分で使用して頂くなどしている。理美容は、月に1回の利用をしている。また、近所の美容室希望の方は、事前に連絡し、送迎を行っている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事やおやつなど、入居者の希望に応じた献立を、栄養などのバランスを考えながら立てるようにしている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	各入居者の病状などを考え、可能なものは作る、買いにいくなどしている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	様々な時間帯でトイレ誘導などを行っており、それぞれの方の排泄パターンをつかむようにしている。排泄パターンをつかんだら、その時間帯で、排泄介助を行っている。	0	
59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1人1人の身体の状態に合わせて、入浴の時間や日にちは、決めているが、基本的には曜日は自由で夕方6時まで、また希望があればリスクがない限りは、入浴を行っている。	1	入居者が希望する時間帯、曜日に入れるように、検討していきたい。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ひとりひとりの、状態などに合わせて、休んでいただいている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1人ひとりの趣味や趣向を把握し、個別または、集団で楽しんでいただいている。時には、外出などを行っている。 日常生活の中で、ひとりひとりが、仕事を持ち炊事洗濯などの仕事をしていただいている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人管理が難しい方は、施設側で管理をしている。又、自己管理が出来る方は、家族、本人同意の下で、おこずかい程度の金額を持っていただいている。 買物の際などは、職員付き添いの下、買物へ行っている。	0	
		63	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望などにより、出来る限り散歩、ドライブなどを行っている。	1	外出の機会をもっと増やしていきたい。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	定期的に、行事で山や川など、行楽シーズンの時に行く機会を作っている。また、事前に家族への参加呼びかけを行っている。	0	
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたい時には、していただいております、手紙は、盆、正月の時にしています。また、普段出したい時にも、出していただいております。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会に来られた際には、笑顔でお出迎えをし、居室や、談話スペースなどで、コーヒーやお茶などを飲みながら、くつろいでいただいている。また、定期的に、行事への参加も呼びかけている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	1	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は、玄関の鍵を開けており、拘束服などは使用していない。又、言葉の拘束などを行わないように職員間で注意しており、指導している。	1	これからも、お互いに注意しあっていき、勉強会も行っていきたい。	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、居室には鍵はしていない。行動範囲の抑制に繋がる為、玄関前のドアを開けたら、音楽が流れるようにしている。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜を問わず、利用者の所在や、様子を確認し、把握するようにしており、安全に努めている。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物など、命に危険があるものは、事務所で管理しているが、利用者の判断能力、理解力によっては、家族同意の下、自己管理に任せている。また、定期的に、その物の管理状態などを、把握している。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	あらゆる面での1人1人に対する対応や、防止策を、常に話し合って検討している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時に備えて、医師や看護師に指導してもらっており、また、年二回の避難訓練などで、対応方法などを助言、指導している。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難通路の把握や、避難方法などを指導しており、各居室には、避難経路を張っている。また、近所の住民の方にも、緊急時の協力をお願いしている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	医師や看護師、職員から、入居者に対する危険性を説明しており、その時の対応方法をその都度話し合っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定、体調のチェック顔色などを似て確認している。また、変化があった際には、看護師や医師、また、各医療機関に連絡し対応をしている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や看護師、調剤薬局より指導がっており、薬の説明書を理解し把握するようにしている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘や便秘傾向、薬の副作用によって起こる便秘に対しては、飲食物の工夫（食物繊維が多い食材の使用）や運動、また、下剤などを使用している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを行っている。入居者の能力に応じて、一部介助を行っている。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェック、を行っており、定期的に水分補給の時間を設けており確認している。また、摂取量が少ない方には、水分を取っていただけるようにしている。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	病院への定期的な健康診断、手洗い嗽などを徹底しており、また、予防接種などを行っている。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	器具等に合わせた、消毒方法や、管理方法（漂白、煮沸、拭き掃除）を行っており、食材に関しては、新鮮なものを購入し使用するようになっている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	1	
	2 生活環境づくり	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りできるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	夏など気候が良い時等は、玄関を開けており、網戸にしている。玄関や庭などには、花などを置き出入りしやすいようにしている。	0	入居者の家族や、近隣住民の方たちに相談し開放的で、出入りしやすいような環境を作っていくたい。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下、トイレ、洗面所、リビングなど、季節の植物を置いており、また、小物や、一般的に家庭にあるようなものを置いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話スペースや、ベランダなどに、テーブルや椅子を置いている。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的には、入居者が今まで使用してきたものを、持ってきていただき使用していただいている。また、安全性や便利性等を考えて、家族と話し決めていく。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日の空気の入れ替え、また、気温によってエアコンの使用を行っている。各居室などには、換気扇などを置いている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	物の配置、使用のし易さなどを、考えて1人で活動できるようにしている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	1人ひとりの能力に合わせた環境作りや、声かけなどを行い、自分で出来る事はしていただけるようにしている。また、アフターフォローも行っている。	1	新しく、入居された方や以前より入居されている方の環境の変化による、混乱などに対し、そのような事がないように今後も声掛けを大事にしていきたい。	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダは、日なたポッコ出来るようにしており、庭には、自由に出入りできるようにしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	3	
		100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。